

神学校献金(神学生奨学金献金) 振替00150-7-669605 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局

歴史の中でバプテストの先達の伝道スピリットに触れる

第53回全国壮年大会実行委員長 向井田 洋(仙台基督教会)

全国の壮年の皆様には実行委員会を代表し連帯の挨拶を送ります。そして、この紙面をお借りして壮年大会の宣伝をします。お許し願います。

東北連合壮年会は東北6県の連盟15教会の壮年(兄弟)で組織されています。北端の青森バプテスト教会から南端の郡山コスモス通りキリスト教会まで自家用車で行くと5時間39分(479km)とパソコンの地図が教えてくれました。この南北に長い、広大な大地で宣教の業に励んでいる仲間たちと壮年大会を準備しています。

東北地方のほとんどの教会は戦後に建てられた教会です。でも、唯一の例外が八戸バプテスト教会(松坂有佳子牧師)です。戦前からの八戸教会の歩みを通して見えてくるのが会場の尚綱学院(写真=右)です。その歴史の中でバプテストの先達の伝道スピリットに触れる、これが実行委員会の願いです。ここで詳しくお伝えできませんが、東北に住む人たちの生命と心(魂)を救おうと奮闘した人たちを知って欲しいのです。会場から徒

歩数分のところに「宮城県知事公館」があります。大会終了後、ぜひ立ち寄って見学してください。1890年、米国バプテスト婦人外国伝道協会から派遣された宣教師(ミス・ファイフ等)が借り受け、婦人伝道者養成のため私塾を開いた歴史的な建造物です。

2011年3月11日の東日本大震災では、連盟を通じて多くの皆さんからの祈りと支援を頂戴しました。心から感謝を

申し上げます。東北の諸教会も被災された皆さんに寄り添い支援活動を精一杯続けてきました。今大会プログラムでは、亡くなられた方や遺族、被災された方を覚えて、「追悼と黙想の夕べ」を行います。参加者全員で祈りの時を持ち、静かに心を合わせます。大会プログラムの前日(16日)、オプションとしましたが、震災遺構として保存された旧仙台市立荒浜小学校校舎の見学(先着30人)を企画しています。きれいな海岸線に立つ小学校が一瞬にして津波に襲われ、住民ら320人が避難した場所です。

主題講演をお願いしていた穴戸朗大牧師(同盟尚綱教会牧師)が体調を崩されました。実行委員会では松岡正樹牧師(同盟京都バプテスト教会)に講師の代行をお願いしました。両牧師のためにどうぞお祈りください。

伝道者養成と教会形成への参与は全国壮年会連合の重要な取り組みです。大会や総会を通じて課題に果敢にチャレンジする確信と決意を固くして頂きたいと思えます。



公 示 2018年度総会において以下の通り選挙を行います。

<立候補対象>

- 2019・20年度 奨学金委員長 「全国壮年会奨学金規定」第5条2項による。
立候補者は当選後、総会にて4名の奨学金委員を指名し承認を得ることとなりますので、事前に選考願います。
- 立候補締切り：2018年7月19日(木)
- 全国壮年会連合規約細則第23条による選挙管理委員会の委員長宛に、書面で届出をしてください。
届出の内容は「立候補する職務名(今回は奨学金委員長)、氏名、所属教会、受漫年月日」を記載してください。様式は自由です。

<注：届出先などのお知らせ>

選挙管理委員長と選挙管理委員は、6月下旬の「地方連合壮年会等代表者会議」で選出されますので、今回は壮年会連合宛に送付ください。委員長が決まり次第転送します。

2018年度総会議案

監査承認の件			
1	1-1	2017年度全国壮年会連合活動報告 資料:2017年度神学校金・会費一覧(3年分実績)	5
	1-2	2017年度全国壮年会連合奨学金委員会活動報告	6-1
	1-3	2017年度監査報告(業務監査)	6-2
2	2-1	2017年度一般会計決算報告	7
	2-2	2017年度奨学金会計決算報告	
	2-3	2017年度監査報告(会計監査)	
3		2019年度神学校献金(神学生奨学金献金)目標額の件	9
4		2018-2019年度全国壮年会連合活動計画案	10
		2018-2019年度全国壮年会連合奨学金委員会活動計画案	5
		2018年度全国壮年会連合一般会計修正予算案及び2019年度全国壮年会連合一般会計予算案	6-1
		2018年度全国壮年会連合奨学金会計修正予算案及び2019年度全国壮年会連合奨学金会計予算案	6-2
		2019-2020年度全国壮年会連合奨学金委員長選挙に関する件	7
		第55回(2020年度)全国壮年大会担当地方連合の件	8
		2019年度 総会議長の件	9
		2018-2019年度選挙管理委員長選出に関する件	10

入学の動機について

師匠の牧師先生の存在があり、その師匠を通してイエス・キリストの光を感じる機会が与えられました。私の価値観は、900度(360度+360度+180度)、2回転半ほど大きく変化し、いのちが甦る感覚を覚えました。私の生活は大きく変化しました。その中で最も大きな変化が、神学校で学ぶということだと思えます。

神学校への入学の動機は何かという問いは、なぜ生きているのかとの問いに似ていると思います。最も端的な回答として「自由だからです」と考えたいのです。生きたいから生き、献身したいから献身し、神の戒めに従いたいから従うという自由と柔軟さの途中経過にあると言えます。

(但し、私を支えてくださった教会の方々のお働きと神様の導きがあったことは言うまでもありません。)

学びについて

神学を学ぶということは、牧師になるためというよりも生「きること」を学ぶことであり、己の

嘘、絶望、罪、自己中心等を知り、それに向き合うことのようにも感じております。生「きること」と神学を学ぶことは大変密接です。神から生「きること」の学びを頂きつつ、自分で生き、自分で学び、そしてまたそれを支えにさらに生きる、ということなのです。この一連の繰り返しを「神の戒めの良き泥沼」とでも呼びたいと思っております。教会での学びが基本にあり、神学校ではさらに一歩踏み込んでキリスト者としての生き方(課題への取り組み方)の訓練をしていると感じております。



抱負について

教会形成と後継者との共生が私には求められていると感じております。後継者になり得る可能性を秘めた方々に歩み寄る姿勢(生き方)が大切かと思われまふ。いのちの続く限り、自由に柔軟に福音宣教に努めてまいります。

「福岡地方連合壮年会の取り組み」

福岡地方連合会長 今村光利(鳥飼教会)

『わたしを強めてくださるお方のお陰で、わたしにはすべてが可能です。』 フィリピの信徒への手紙4章13節

私が壮年会との関わりをもってから、副会長の時期を含め8年目に入ります。会長になってからは2年目になりますが、当初こんな小さき貧しき者が現役で仕事をしながら、壮年会での奉仕がいい加減にならいか、とても不安でしたが、払拭できたのは祈りと御言葉でした。今でも鳥飼バプテスト教会での早天祈祷会に参加させていただいていますが、その時に与えられたフィリピの御言葉と早天と鳥飼教会の皆さまの祈りに支えられ、足らざるところは主が補って下さる事を信じ活動をしています。福岡県南部にあたる福岡地方連合は、42教会、伝道所があります。(北部は北九州)8年前に初めて、壮年会活動に参加した頃感じた事は、42の教会伝道所が有るわりには、研修会を開いても参加人数が10人程度と大変驚いたこと覚えています。人数だけではないということは、今ではわかりますが、バプテストを受けて2年目の頃でしたので理解できませんでした。しかしながら壮年会活動を通して、壮年が元気でないと『神学生を支える働き』『牧師との協働』を支えることができないことも事実だと思えます。ただ42教会伝道所のなかには、壮年会が無いところも有ります。その事ばかりが原因ではありませ

んが、ここ数年は壮年会費の納入実績は50%程度で残念ながら推移しています。取り組みとして、役員で試行錯誤しながら前会長の頃から42教会伝道所を4つのブロックに分け、ブロックごとに研修会を順に開く様にしました。以前は、便利のよさで中央の同じブロックで多く研修会を開いていましたがブロックごとで研修会を開くと同じブロックの参加人数が顕著に増加しました。少しでも壮年会の活動を知って頂き、又我々のブロックで研修会を開いて欲しいなどの要望があれば答えていきたいと思えます。今では、4つのブロックを順にを基本に考えています。参加人数も現在では、30人程度になって来ています。

バプテストは、言うまでもなく各個教会であります。それが故に、隣の教会でどんな壮年の活動がなされているか、わからない事が多いように思えます。研修会を開いた際、研修会に参加された方が、近隣のいくつかの教会と交流をする計画がありまふと、話をされていまして。この様な交流も含め企画立案し、活動に理解していただき、壮年が元気になる様な奉仕を様努めて参ります。

日本バプテスト連盟全国壮年会連合

〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4

事務局執務:月、水、金 10:00~16:00 ☎・fax:048-886-7533 <http://www.sonen.net> sonen@bapren.jp